

今年の課題コンのテーマ「語」

取り付き難い題とは思いますが

会長 合原 一夫

毎年宮中で行われる歌会始めの来年度課題が「語」だそうです。これを聞いて、これは難しいゾと皆さん思っているのではないかと、そんな気がします。過去OVCでやっていたとき、映像のテーマとして取り付き易い年は出品数も多く、難しいときはやはり出品数も少なかったように記憶しています。「青」とか「道」とかの時は多くの出品が、「人」の時は少なかったと思います。今年の「語」は如何でしょうか。

「廃線物語」や「マンホール物語」などは今まで紙本さんがたくさん作っておられるので、少し手を加えてタイトルに語を入れれば、作品はもう出来たようなものです。大阪城の石の刻印に目を付けて「大阪城石物語」なども立派な作品に出来そうです。また「石垣」の積み方からの物語も語れそうです。一方、視点を変えて「わが古き手帳は語る」とか、古い手紙とか写真とか日記帳などから過去のことを思い出して語ることも、立派に作品になり得ることでしょう。

少し傷んできた我がサイフ、これをしみじみ見つめながら、何かを語るとはできませんか。

「英語ができるやん〇〇ちゃん」そういう子はいませんか。おばあちゃんやおじいちゃんが何か語ってくれた思い出はありませんか。大地震のあったとき、自分はどこで何をしたか思い出して語ることはありませんか。「今を語る」というテーマでまとめてみては如何ですか。

こういう風に話を広げていけば、「語」というテーマは難しいと考えていて今年は棄権しようなどと思わず、何か考えて作品つくってください。

今年の課題コンの出品本数が2桁になりますよう祈っています。

■3月例会のお知らせ

■第2例会：第3木曜3月16日13時より、特に助言を受けたい作品、往年の懐かしの作品等ご持参ください。
 残った時間は参考作品上映。

■通常例会：第4土曜25日18時より、第2会場と同じ難波市民学習センター（JR難波駅OCATビル4階）にて開催。
 寒さも和らいで来ました。どうか楽しいひと時を、お待ちしております。

■OMC 撮影会

既報の通り5月13日（土）～14日（日）に有田得生寺の「中将姫来迎会」をメインに実施されます。

参加費16,000円は3月例会で申し受けます。希望者は至急電話を！

■映写会のお知らせ

・日本を縦断する映像発表会：3月11日（土）12：30～、会場：大阪市立中央図書館5F

・なんば駅前映画会：3月27日（月）13：30～ 会場：大阪市立難波市民学習センター講堂（例会場と同じビル）

■課題コンテスト、歌会始めと同じ題で「語」

OMC課題コンとして「語」の入った題の作品を作ってください。

5月第2例会（5月18日（第3木曜日））でコンテストを行います。「〇〇物語」「〇〇は語る」「語部」等々。

2月通常例会レポート

今冬は寒く雪が降る日が多く、京都や奈良では積雪があり素晴らしい雪景色の寺社仏閣の映像をものにされた会員さんもおられことと思います。今月は司会、柴辻氏、書記、前田氏、メモリ記録、江村氏、映写、稲田、河合、坪井の各氏、受付兼照明係、宮崎、華岡両氏、掲示、紙本氏の担当で進行了ました。

■出席者：有村、稲田、江村、岩井、岡本、紙本、河合、合原、柴辻、関、進藤、高瀬、坪井、西村(光)、野田、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、山城、弓取、中村の25氏と作品13本。

■上映作品（今月の講評は前田世話役）

1. ハイブリッドYOSAKOI'2014 (BD) 江村 一郎 7分50秒

画面一杯に夜のお堂が映し出され、タイトルの「除夜」、テロップの「平成28年作」が現れます。参詣する善男善女、毎年本場の「よさこい」を作ってこられます。今回は2014年度もの。毎回同じテーマなので、一工夫してみようとされています。"ハイブリッド"よさこいは最初の1分40秒程の間の連のおどりだそうです。確かにこれまで数多く見た連の踊り

子たちと化粧も衣装も一風変わっています。ハイブリッド連以降はこれまでの連と同じような感じでした。しかし今回は三脚を低くして多用し、大変安定した画面で構成しています。それだけに安心して見ていられますが、これまでの江村さんらしい手持ちのアップの映像が影を潜め江村作品らしからぬ印象を受けました。夜の部トップにカメラマンが抜け出ていく部分がありますが、夜の雰囲気を出しながらこれをカットすることは出来なかったのでしょうか。よさこいは永劫に続くので、毎回作品にまとめるのはご苦労なことと推察します。

2. 千田祭 (BD) 紙本 勝 10分14秒

有田市千田地区にある須佐神社で行われる海上安全と大漁を祈願して行われる秋の大祭を取材されました。須佐神社の祭神は素戔鳴尊で大変荒っぽい神様として古来より知られています。秋の例祭は「千田の喧嘩祭」とも言われ、氏子を始め多くの参拝者で賑っています。神輿の階段滑りや、路上への放り投げ、海の中への放り込み等、荒々しい行いが続いてビックリしますが、荒ぶる祭神素戔鳴尊に喜んでもらえるために手荒にするようです。中でも鯛投げ神事は圧巻で、神前にお供えした鯛の内、2尺程の4懸（8尾）を高田浜での祭典終了後男子神輿の担ぎ手の内から各地区1人ずつ櫓の上より投げ、それを奪い合う神事は迫力満点です。あまり知られていない祭りですが、作者は情報をキャッチされ作品に仕上げられる努力と技術には唯々敬服するばかりです。漁村の雰囲気の残る中で迫力満点の素晴らしい作品です。

3. オルデサ溪谷国立公園 (BD) 華岡 汪 9分54秒

ピレーネ山脈、南側に位置するスペイン側の山間地の有名溪谷に行ってきた。美しい溪谷は、日本のそれと似ているかなと、ふと思いました。やはり山々の姿は日本の風景とは違っていました。ヨーロッパの旧市街は何処でも石造りで木と紙の日本の住宅からすると立派に感じてしまいます。何時ものようにナレーションとテロップで判り易く作られており思い出に残る紀行作品になったものと思います。唯、SEのカット繋ぎは一工夫する必要があります。カットごとにプツンプツンと切り替えるのは違和感があるので、音のディゾルブ（プレミアではオーディオトランジション→クロスフェード→コンスタントパワー）をかけるといいでしょう。滝のように大きな音はいきなり出すのではなく、前のカットから少しづつ聴かせて本カットに？ぐ方が抵抗なく聞こえます。

4. なら瑠璃絵 (BD) 有村 博 8分30秒

2月の中旬に開催された光のイベント。パンフレットを見て行かれたそうです。興福寺、春日大社、東大寺の奈良有名三社寺の回廊をLEDで飾りその中を歩くようになっていきます。広場に無数の青色LEDが煌めく様は人の心を洗ってくれるように美しい情景です。他にも獅子神楽奉納、大仏殿の観相窓から大仏のお顔が見える珍しいカットなど楽しませてもらいました。しかし三脚使用は禁止などだんだん有名観光地での撮影が困難になってきました。大きなイベントですが、開催費用と集客収入効果はどうなのかと、余分な心配をしてしまいました。

5. 鷹匠達の心意気 (BD) 中村 幸子 8分15秒

昨年12月に新入会され初めて持参された作品。新入会者ですが作品制作にける意欲は凄いものがあります。人間ドキュメンタリー指向の作家ですが、この作品を第一作として、目下、第二作、第三作を手掛けられておられるとか。次作品の完成に期待が高まります。人間ドキュメンタリー作品は8mmフィルム時代末期に多く手掛けられ全国的に名作が沢山できました。しかしその後のテレビの躍進でこれまでアマチュアが手掛けてきた素材がテレビ界に荒らされアマの出る幕がなくなってきたのは残念なことです。

この作品は我が国に古来から伝わる伝統の鷹狩について紹介しています。

仁徳天皇の時代にはすでに存在していたようで、以降貴族、武士へと技術が引き継がれてきました。

しかし今は僅かな人数の鷹匠達が守っているのが実情のようです。鷹狩に使うオオタカは国内での捕獲が禁じられ外国から輸入し、訓練しているとか。作品的には放鳥の練習風景が多く、飛んでいる鳩や小鳥などを捕獲する場面がないのは惜しまれます。

国内法で禁じられている事柄が多いようで映像として捉えるのは技術的にも難しいようです。鷹匠さんへの密着取材も試みたそうですが、許可が出なかったとか。法で鷹の捕獲禁止、小鳥の殺傷禁止など難しい現代で、鷹狩りの技術をどのように後世に伝えてたらいいか等々根本的な問題への提言もありました。大阪城天守閣からの放鳥イベント訓練は映像に撮られてないので、カットしたほうがいいでしょう。鷹狩を今の人に知ってもらうために、ハト、ヒヨドリ等を追っ払う役割として鷹狩を活用しています。

日本の伝統を消してはならないと語るシーンは印象的です。ラストシーンは鷹匠の鷹への愛情が感じられるいいカットでした。ラストシーンはBGMが小さいので音楽的な盛り上がりがないところが残念です。

ナレを少なくしてBGMで盛り上げたらいいでしょう。しかしなかなかの力作で見応えがありました。

今のOMCにこれほど人間ドキュメント作品制作に注力している会員はいないので、大変有能で優れた会員が入会してこられたものと大歓迎いたします。

6. 台湾ランタン祭 (USB) 山本 正夢 8分20秒

台湾西部の地方都市、雲林での大きなお祭りです。台湾も中華系民族が大部分ですから、祭りには爆竹をバンバン鳴らし耳がつんざかれそうです。中華風寺院、獅子舞、龍踊り、等々披露されます。

日本人観光客は中華風な派手な文物に驚き、台湾人観光客は日本へ来たたら日本の質素な文物に驚くのでしょうか。国民性の違いが判って興味を惹かれます。

7. 秋惜しむ弧蓬庵遠州忌 (BD) 河合 源七郎 8分18秒

近江弧蓬庵（こほうあん）は長浜市北東部にある寺。小室城主で、千利休、古田織部とともに日本三大茶人としても名高い小堀遠州の菩提を弔うために、江戸時代前期、京都大徳寺から僧円恵を招いて開山した臨済宗大徳寺派の寺。庭園は、本堂南にある簡素な石組の枯山水と、東に面した池泉回遊式庭園があり、県の名勝に指定されています。この美しい寺で行われた小堀遠州の法要の様子を撮影してこられました。

尺八献奏の見事さにしばしうっとり聞きほれました。只、木魚がバックに流れるときの音処理は気を付けましょう。音声の波形を見て、木魚の音の間隔を均等に合わせると音飛びのように聞こえて不自然になります。大変珍しい法要の様子を見せて頂きました。タイトル通りの情感ある作品だと思います。

8. 本物の動くSLが見られる 京都鉄道博物館 (BD) 稲田 拓 7分30秒

昨年4月29日に大改築された京都鉄道博物館です。その前は梅小路蒸気機関車館と称しSL中心の展示でした。鉄道に関する博物館は大小が全国各地にあります。大宮の鉄道博物館（JR東日本）、リニア鉄道館（JR東海）、京都鉄道博物館（JR西日本）が日本の三大鉄道博物館と言われています。中でも京都のそれは規模、展示内容の充実度ともNo1ではなかろうかとされています。そこへ行かれた作品ですが楽しそうな雰囲気が伝わってきます。鉄道好きにはたまらない作品です。声の職人ナレーションでも語っていたようにSLが何時まで走ってくれるのかが心配されますね。

9. 梅一輪一輪ほどの (BD) 柴辻 英一 9分00秒

堺にもこんないいところがあると云って持参されました。泉北の多治速比売神社の梅林を紹介してくれます。西暦580年頃の創建とあるので由緒ある延喜式内社二十四座の一つとありました。特別の許可を得て内陣の本殿を紹介してくれます。国の重要文化財だそうで小ぶりながら室町時代の見事な社殿です。この神社の梅林の美しさを描かれています。ナレーションの若々しいお声と、しっとりとした情感のあるいい作品だと思います。

10. 柿熟れる 愛宕街道をゆく (BD) 森口 吉正 10分30秒

昨年10月に撮られたとのこと。落柿舎からスタートして祇王寺、あだしの念仏寺、鳥居本辺り、おたぎ念仏寺へと続く愛宕街道を巡ってこられました。いつもの適切なカット割り、名調子のナレーションと相まって、しっとりとした嵯峨野の情感を味わいました。しかし、ラストシーンの京都タワーをあれだけ高倍率にしないで普通の望遠からのズームバックの方が三脚振れが目立たず良かったと思います。

11. 早春の梅小路公園 (BD) 高瀬 辰雄 7分40秒

平成2年にJR貨物の梅小路駅跡地に京都市営公園として開発されたとのこと。隣接の梅小路蒸気機関車館は昭和47年10月に鉄道開業100年を記念して開設され、昨年に改築改装され京都鉄道博物館に生まれ変わりました。その梅小路公園ですが敷地も大きく、広々とした芝生広場や、河原の水遊び場、チンチン電車も走り家族で一日ゆったりくつろげる公園です。そこへ作者は行かれ早春の情景を拾ってこられました。定番のポイントでのC622は迫力があって魅入りました。チンチン電車がポールから集電せずに走っていたのが不思議でした。

12. ジャイプール (DVD) 弓取 克弘 8分

インドのジャイプールへ行かれて撮ってきた紀行作品です。先月は同じインドの宗教都市ベナレス作品の続編でしょうか、今月はジャイプールという北部にある大きな街です。インドは中国に次ぐ世界第二の人口大国で街の人口の多さを伺い知ることが出来ました。インドには特有の身分制度カースト制度があって、上流の貴族階級と下流の被支配階級との間には厳然たる差別があってかつての王様は立派なお城を建てて住んでいたようです。被支配階級の暮らしは厳しいと学校で習った記憶を、この作品を見て呼び起こされたような気分になりました。作者は危険といわれる夜の町へも出かけて行って映像を撮っていますが、本当にご無事でよかったですと思いました。

13. いきている太陽の塔 (BD) 進藤 信男 13分50秒

先月の紙本作品と同じ太陽の塔へのビームペインティング（3Dマッピング？）を主体とした作品です。

3Dマッピング映像は現場で見ると、大迫力ある音声と見事な映像美の連続でつい長く撮ってしまい長い作品になりがちです。太陽の塔内部の生命の樹が改修され一般公開されるのに合わせて、生命の起源をストーリー性を持たせて3D映像化されたものでしょうか？、3D映像内容自体も理解しかねます。

ビデオ愛好者としては、どこから、どのように、何台のプロジェクターを使って上映しているのかが関心事ですが、現場に居た作者もどこにあるのか見回したが判らなかつたとのこと。しかしやはり岡本芸術は難しい。

■YouTubeへ作品をアップロードしてみませんか（再）

作品を例会以外で見えていただく方法の一つにYoutubeへアップロードしてOMCのホームページにリンクして載せる方法があります。その方法は下記からみられます。（前田・坪井記）

下記のリンクから入って下さい。

[28-09-youtube-upload.pdf](#) へのリンク